

2021年7月30日

文京区長 成澤廣修 様

日本共産党文京区議会議員団  
日本共産党 東京都議会議員 福手ゆう子  
日本共産党文京地区・青年学生部長 石沢 憲之

## 新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ

新型コロナウイルス感染症対策に、区長はじめ全庁が努力されていることに敬意を表します。

4回目の緊急事態宣言が7月12日に発出されましたが、東京都の1日あたりの感染者数は5月の第4波のピーク(1121人)を超え、過去最高の3千人に達し第5波というべき最悪な事態です。

都議選で都民からは今夏の五輪はやるべきではないという民意が示され、東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議では変異株への置き換わりが進み増加比が更に上昇すると「2週間を待たずに第3波を遥かに超える危機的な感染状況になる」と分析しています。こうした中で開幕したオリンピックでは、選手・関係者に新規感染者が相次いで確認され、政府の「水際対策」にも大穴があることが明らかとなり、このままでは医療体制が逼迫し、まともな医療を受けられないまま救えるはずの大切な命を失う事態が再現しかねません。

よって、文京区においては区民の命と健康を守る自治体として緊急に下記のことに取り組むよう強く申し入れます。

### 記

#### 1、東京オリンピック・パラリンピックについて

「五輪より命が大切」の立場から、オリンピック・パラリンピックは今すぐ中止を決断し、コロナ対策にあらゆる力を集中するよう東京都、国に求めること。

#### 2、PCR検査等を抜本的に拡大し、感染者の早期発見・保護・治療の体制確保・拡充のために

- ①広島県等の先行事例を参考に駅・薬局等において、無料PCR検査キットを配布する体制をつくるなど、いつでも誰でも何度でも無料で検査を受けられるようにし、有症者への検査や保健所の積極的疫学調査では発見しきれない無症状感染者を早期に発見・保護すること。
- ②高齢者・介護(通所系含む)・教育・児童福祉施設におけるPCR検査は2週間に1回ほどの頻度で定期的に、職員・利用者全員を対象に行うこと。
- ③自宅療養者の命を守り感染拡大を防止する観点から、個人情報保護に留意し区として支援すること。
- ④コロナ対策が長期化する下で、地域に密着した感染封じ込め対策に取り組むため、本郷保健所の復活で保健所2か所体制を再構築し、保健所体制の抜本的拡充・強化にと

りくむこと。

- ⑤東京都に対し、都立病院・公社病院の地方独立行政法人化は直ちに中止するよう求めること。
- ⑥内閣府に対し、事業所モニタリング検査の枠組みを拡大し、希望する事業所すべてで定期検査が可能になるように要請すること。
- ⑦国に対しPCR検査体制・保健所体制の拡充や市民・事業者への十分な補償が可能となるような財政措置を求めること。

### **3、新型コロナウイルスワクチンの迅速で安全な接種のために**

- ①国に対し、23区長会等と十分に連携し病床削減の中止やワクチンの安定供給に責任を果たすとともに、供給の見通しを正確かつ正直に示すよう強く求めること。
- ②シビックセンター庁舎に開設された集団接種会場利用者が、駐車場を利用する際には駐車料金を免除して駐車券を発行すること。

### **4、地域経済を担う中小企業など事業者に必要な補償を行うために**

- ①新型コロナの影響で収入が落ち込んでいる区民や事業者への直接給付を検討・実施するために、9月定例議会を待たずただちに予算化すること。
- ②持続化給付金や家賃支援給付金の第2回目や雇用調整助成金のコロナ特例延長とあわせ、生活困窮者に対しての10万円給付を国に求めること。

以上